

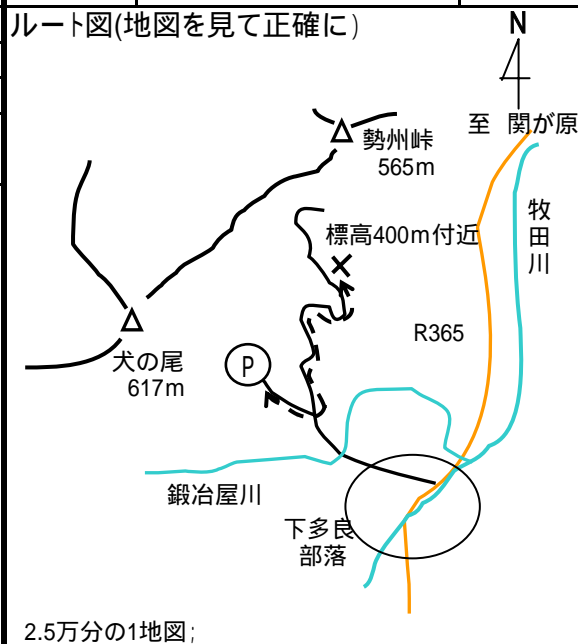
1月度 個人山行報告書

報告者; 渡辺勝利

報告日; 06.01.08

| | | | | | |
|------|-----------|-----|----------------|------------|--|
| 山名 | 鈴鹿北部 | 山行日 | 06年01月05日(木) ~ | 参加 メンバー | CL; 藤田(健)、SL; 塚本英吾 白井、浜島、油井、石井、佐溝 岩崎、青山、福井、三矢、不破 渡辺(幸)、岡田晋、吉枝、飯谷 藤田恵理子、塚本洋子 渡辺育子、勝利 以上20名 |
| 山行目的 | 犬の尾(ぼんてん) | | 年 月 日() | | |
| | 干支登山 | | (泊 日) | | |

配布先
集会: 枚
山行リ-ダ;
原紙; 集会
担当者



| |
|---------------------|
| 1/5(曇り) |
| 7:00 刈谷集合 |
| 7:15 刈谷発 |
| 8:45 上石津町 大正館着 |
| 9:00 大正館発 |
| 9:45 車留め発 |
| 11:30 林道途中 標高400m付近 |
| 12:30 |
| 13:25 車留め着 |
| 15:30 上石津町 大正館発 |
| 16:30 湾岸長島SAにて解散 |

< 山行記録 >

今年で3回目を数える干支登山。申年は猿投山、酉年は白鳥山、そして戌年の今年は犬の名前の付く山は何処にとりだの藤田が散々探し回って見つけ出してきたのが今回の「犬の尾」なる珍妙な名前の山である。11月に2回の偵察を行って登山ルートもしっかり調査(この時ガイドブックの記載ミス発見のおまけあり)し、万全を期して望んだが年末からの大雪のため林道も膝までのラッセルとなり、途中の標高400m付近までで時間切れとなった。雪の道を行く20名の年寄りの行列は他の人が見れば異様な感じがすると思われるが、本人達にとってみれば、久しぶりに昔の雪山を思い出させるに十分な愉快的な山行となった。しかし、この山行中に病氣療養中だった丹羽さんが他界されていることは知る由もなかった。改めてご冥福をお祈りします。

刈谷に7時に集合。干支登山も今年で3回目となり、年々参加者が増加し、今年はOB会員を中心に20名の大部隊となった。賀詞交換もそこそこに5台に分乗して、伊勢湾岸桑名IC、R365経由で上石津町に入る。途中からは小雪もちらつく曇り空で今日の好天は望めそうもない。周囲の山には積雪も多そうである。本来ならこの時期、この標高ならば雪はくるぶし程度と踏んでいたのだが、とんでもない大雪にぶつかってしまったものだがとりあえず、時間を決めて行けるところまで行ってみようということにして、下多良の大正館を後に谷畑部落を過ぎ、左への林道を100mほど行った納屋の前に車を留め身支度をして折り返し分岐から右の林道歩きを開始する。最初の植林帯は雪も比較的クラストして歩き易かったが、次第に膝までもぐりようになり先頭の2~3人はワカンをつけたラッセルを強いられるようになる。いつのまにか雪は止み薄日も差す天気になってきた。突堤を過ぎ、崩壊している個所を高巻きしながら、わいわいがやがや賑やかに高度を稼ぐ。久しぶりに参加された白井さん、油井さんも元気いっぱいである。11時30分まで林道を登り詰めてきたところで時間切れとなり、道の真ん中に誰はばかりことなくシートを広げ、雪を踏み固めて宴会場を作る。

< フリースペース >

山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に



大正館での記念撮影

リーダー印
藤田
06/01/09

< リーダ所見 >
暖冬を予測して山域を決めたつもりが年末からの降雪で見事に裏切られた結果となってしまった。まずは時期をみて再トライしておきたいところである。来年の干支、猪では南部に絞り込んで今から偵察準備開始。